

# 私達が企画する 「新たな支え合い活動」(案)

2017年01月19日  
情報の交差点チーム

# 目次(1)

---

- 1. プロジェクト実行計画
  - 1. 1 目的・作業期間・作業工数・作業場所
  - 1. 2 作業体制
  - 1. 3 作業工程

## 目次(2)

---

- 2. プロジェクト成果物
  - 2. 1 フレームワーク
  - 2. 2 価値観
  - 2. 3 ミッションとビジョン
  - 2. 4 行動規範
  - 2. 5 活動領域
  - 2. 6 活動の狙いと活動目的
  - 2. 7 実施目標(改善目標)
  - 2. 8 実施活動の概要
  - 2. 9 個別活動計画

# 1. プロジェクト実行計画

## 1. 1 目的・作業期間・作業工数・作業場所

---

### (1) 目的

- メンバーが知恵を出し合い、身の丈に合った新たな「地域支え合い」活動の企画を、所定の期日までに策定する。

### (2) 作業期間

- 2016年11月10日(木)～2017年01月16日(月)

### (3) 作業工数

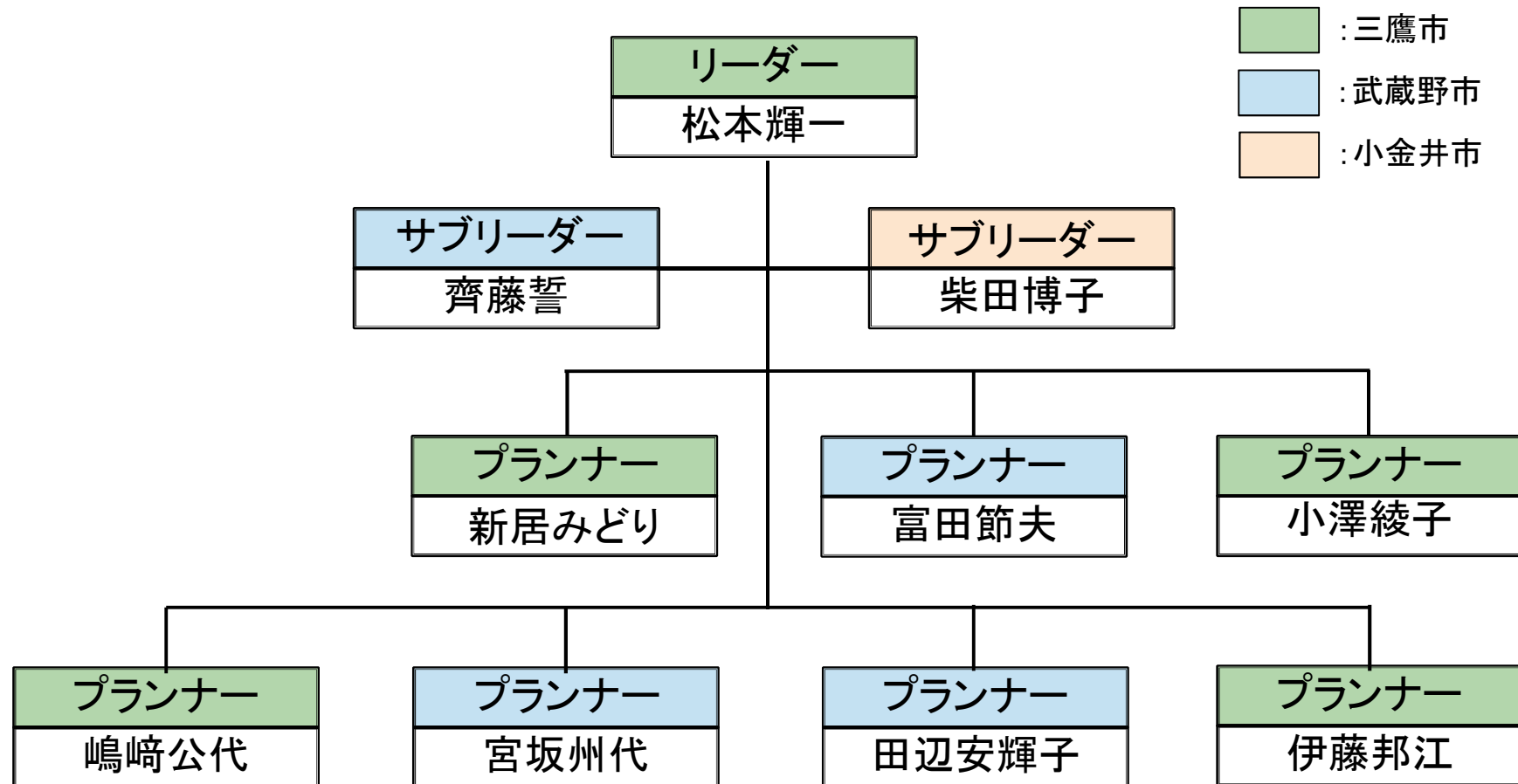
- $(0.5日 \times 10人) / 週 \times 10週 = 50人日$

### (4) 作業場所

- ルーテル学院大学、武蔵野プレイス、自宅など

# 1. プロジェクト実行計画

## 1.2 作業体制



# 1. プロジェクト実行計画

## 1.3 作業工程

Act. 1  
11月10日

・ 価値観と活動理念(ミッション・ビジョン)の設定

Act. 2  
11月26日

・ 行動規範と活動領域の設定

Act. 3  
12月13日

・ 活動の狙いと活動目的の設定

Act. 3  
12月22日

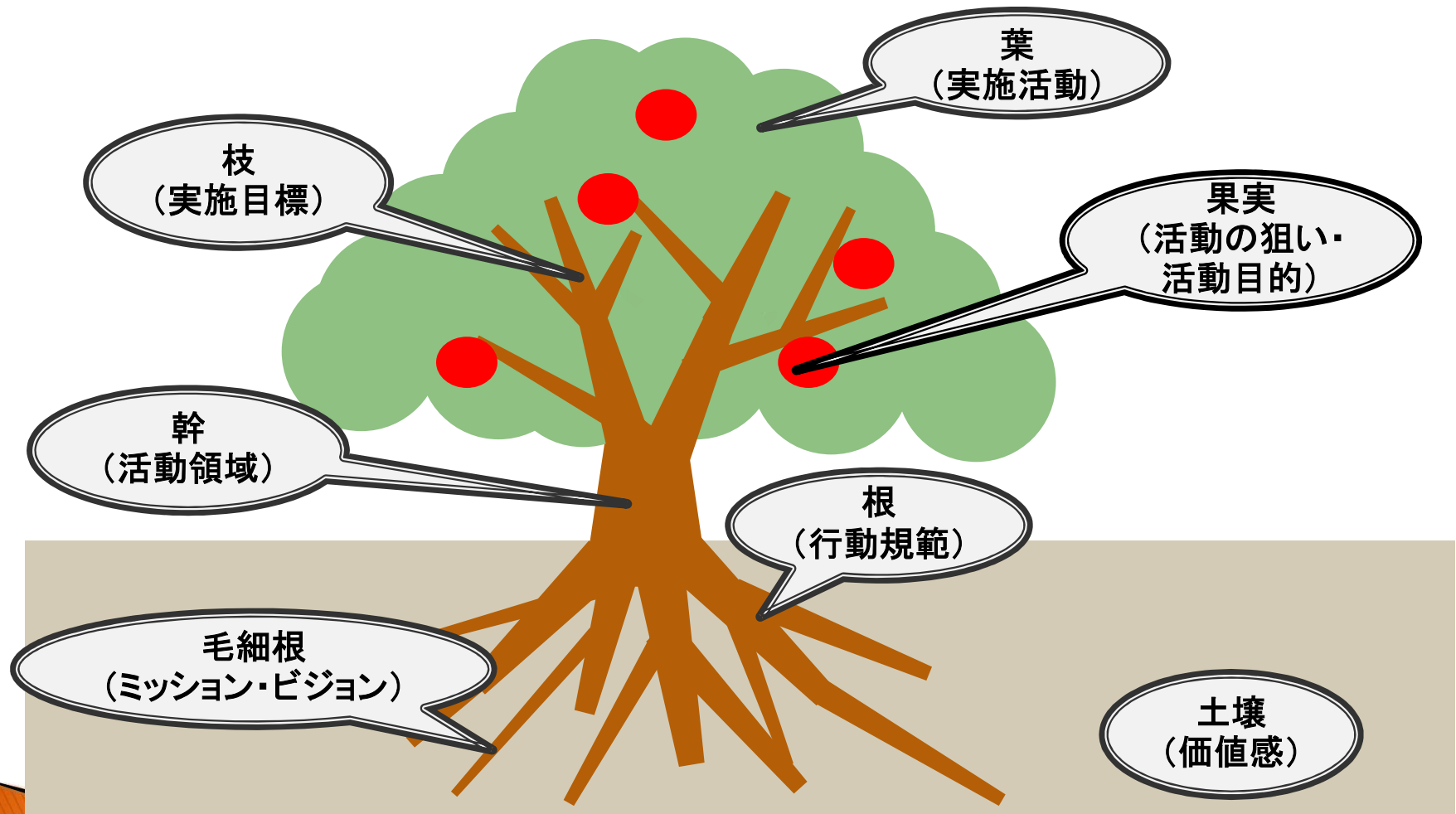
・ 実施目標(改善目標)と実施活動(解決方策)の設定

Act. 4  
1月13日

・ 個別活動計画の作成

## 2. プロジェクト成果物

### 2.1 フレームワーク



出典元: グローバルとイノベーション 価値観がすべてのベース

私達が企画する「新たな支え合い活動」

## 2. プロジェクト成果物

### 2.2 価値観

---

#### (1) 博愛・親切

- 自らが住む地域を大切に思い、広くすべての人に愛の手をさしのべ、地域住民が心から望んでいることを読み取り、生活課題の解決に貢献する。

#### (2) 犠牲・奉仕

- 自分の欲求や欲望を脇にやり、自らが持つ能力や人脈・社会資源を生かしながら、地域住民のために最高の利益を求める。

#### (3) 近所・共助

- 隣人に関心を持ち、困っているな、変だなと思ったら、いつでも声をかけ、助け合う。日頃から地域住民が連帯し、協力し合える風土を作る。

#### (4) 尊敬・礼節

- 自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、他者を重要な人物として接する。



## 2. プロジェクト成果物

### 2.3 ミッションとビジョン

---

#### (1) ミッション(使命)

- 心豊かに生き、支え合う地域社会を創造する。

#### (2) ビジョン(将来の具体的な姿)

- 地域の境界や組織の壁を越えて、既成概念にとらわれず、人と人との交流を通じて、誰もが自分らしく、尊厳を持った生き方ができる地域社会を構築する。

## 2. プロジェクト成果物

### 2.4 行動規範

---

- (1) 地域住民本位
- (2) 地域住民理解
- (3) 地域住民との交流
- (4) 生活の現場を知る
- (5) 現場からの発想
- (6) 個の力の発揮
- (7) 自己目標を持ち、自己管理する
- (8) 率先力を発揮する
- (9) 責任を持つ
- (10) とにかくやってみる
- (11) 現実を直視する
- (12) 自由闊達なコミュニケーション
- (13) 法規制等の順守
- (14) プライバシーの尊重と保護

## 2. プロジェクト成果物

### 2.5 活動領域

#### ターゲット

元気な高齢者、生活課題を抱える高齢者、単独世帯、ひとり親家庭、児童を持つ親、障がい者、共働き世帯の児童、地域在住外国人など



#### ニーズ

健康寿命を伸長したい、趣味を生かしたい、地域に役立つ活動がしたい、生活不便・生活しにくさ・生きにくさを解消したい、子育ての情報を知りたい、円滑なコミュニケーションを取りたい、宿題をしたい、友達と遊びたい、おやつやご飯を食べたい



#### 提供するサービス(展開する地域支え合い活動)

ふれあい・いきいきサロン、支えあいミニデイ、交流会活動、子育てサロン、宅幼老所の運営、軽易な日常生活支援活動、ふれあい給食サービス、安否確認、災害発生時の高齢者避難補助、異世代交流、研修活動(ボランティア研修、手話サークル等)、**広報・啓発活動、生活支援情報の発信**、多文化共生の支援

## 2. プロジェクト成果物

### 2.6 活動の狙いと活動目的

---

#### (1) 活動の狙い(間接的な成果)

- 地域住民と共に、いきいきと楽しみをもって生活できる仕組みを作る。

#### (2) 活動目的(直接的な成果)

- 暮らしの困りごとを解決していくと同時に、地域のつながりを強めていく。

## 2. プロジェクト成果物

### 2.7 実施目標(改善目標)

---

- 都市化と共に近所付き合いが希薄となり、日常の小さな困りごとを相談できる場所がない。一方で、簡易な生活支援ボランティアを志す方々もいるが、何れも接点が見当たらず解決に繋がっていない。
- この問題を、「地縁組織、生活支援ボランティア、および地域住民に対して、多様かつ二重・三重の地域支え合い活動に関する情報を提供する」ことで解決し、身近な地域に、誰もが・いつでも・どんなことでも、気軽に相談できる環境(体制)を作り、これを維持する。

## 2. プロジェクト成果物

### 2.8 実施活動の概要

---

- 実施目標を達成するために、地域支え合い活動の窓口機能を担うべき町会・自治会・地域社協等の地縁組織、従来の地縁組織では届かないスキマへの支え合い活動を担う生活支援ボランティア、および近助・共助を担うべき地域住民に対して、**多様かつ二重・三重の地域支え合い活動に関する情報を提供する**。具体的には各地域の社会資源を活用して、次の「**手作りの出前講座の企画・提案活動**」を市内各地域に展開する。  
(頻度：年3回)
- ① 多くの人々が地域福祉への関心を高め、地域福祉への関わりを持てるよう、各市内の地域住民に対して、地域福祉意識の啓発や地域福祉への理解を広める情報を提供するための出前講座を、企画・提案する。
- ② キャリアもスキルもパワーも残存している「おやじ族」や小さな草の根活動を目指すボランティアに対して、地域での活動を促す情報を提供するための出前講座を企画・提案する。

## 2. プロジェクト成果物

### 2.9 個別活動計画(1)

---

第1回の出前講座として、知っ得・お得な「暮らしの便利講座」を開催する。

#### (1) テーマ

- 歌いながらシニアエアロ

#### (2) 目的

- 介護や認知症を予防し、健康寿命をさらに延ばしていただく。

#### (3) 講座概要

- シニアにとって歌を歌うことはストレス発散になり、精神状態を安定させる。これが結果的に血圧を安定させることになり、介護予防や認知症予防につながっていく。
- 今回の講座では、美空ひばりやその他懐かしいメロディを口ずさみながら、筋力トレーニングや体操することでストレスを発散し、血圧を整え、記憶の想起を促して脳を刺激する。

## 2. プロジェクト成果物

### 2.9 個別活動計画(2)

---

#### (4) 対象者

- 武蔵野市在住のもっと元気になりたい高齢者。

#### (5) 募集人数

- 30名程度

#### (6) 会場

- 境南コミュニティセンター 2F。

#### (7) 日時

- 平成29年3月4日(土) 13:30~15:00

#### (8) 参加費

- 無料



## 2. プロジェクト成果物

### 2.9 個別活動計画(2)

---

#### (9) 募集方法

- 未定

#### (10) 主催

- 地域福祉ファシリテーター養成講座修了生の「情報の交差点チーム」

#### (11) 後援

- 武蔵野健康づくり事業団 健康づくり支援センター

#### (12) その他

- 出前講座の終了後に参加者の満足度調査を行う。